

THE SHIGA PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS



公益社団法人
滋賀県理学療法士会
ニュース

No.191 (2015-4)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2015.8.1 発行

発行者：(公社)滋賀県理学療法士会 本白水 博
〒520-0804 大津市本宮2丁目9-9
大津市民病院 リハビリテーション部
電話 077-526-8357 FAX 077-521-5414

編集者：西村 謙太郎(公立甲賀病院)
佐治 哲也(公立甲賀病院)

印刷所：(有)東 呉 竹 堂(ひがし印刷)

笑顔をつなぐ、 連携が取れたら良いですね！

甲賀市信楽地域包括支援センター 橋 本章子

私は、地域包括支援センターで高齢者の在宅支援をしています。以前は、病院に勤める看護師でしたが、当時の仕事を振り返ると入院中の患者さんの「病気」のことは気にかけても、その方の「生活面」まで考えることがあまりなく、現在この仕事について、今更ながら当時の反省を思い起こす毎日です。リハビリテーション担当の方も入院中の方が在宅に戻られ、いろいろな不自由を抱えておられても「残った機能を駆使して生活したら良い」と考えておられたと思います。しかし、1日に何回もリハビリテーションのプログラムを組まれた方が、退院と同時に、習ったリハビリをしてくださいねと言われても決してできることではなく、当然退院後の機能維持は難しいのです。また本人はもちろん在宅でリハビリテーションをマネジメントしている介護職の方に、退院カンファレンスの専門用語での説明はわかりにくいものだと思います。もう少し相手の状況に配慮して、本人にわかる言葉で説明し、その方の生活にあった提案ができれば良いと思います。患者さんのためには、退院時「自宅で暮らしやすくするためにはどうしたらよいか」本人や家族、リハビリテーションの専門家をはじめ、在宅支援者がそれぞれ連携しながら本人を支援することが改めて大切なことと、この仕事を通じて感じています。その方の

立場に立ったりリハビリテーションをはじめ、様々な支援を通じて生活に張りを持っていただけるような取り組みをしていきたいと考えています。

甲賀市では病院で勤務するリハビリテーションの専門職の方を中心に「健康的な生活を送る力」をつけていただくため、筋力アップを目的とした「介護予防教室」や「100才体操」など、様々な取り組みを始めています。市民の方が様々なイベントや事業活動への参加を通じてのリハビリテーションも大切なものがあり、その方に合ったりリハビリテーションをしていただくためにも、周りの私たちが常に連携を取りながら健康的な生活を送っていただけるような支援をしていけたらと考えています。



士会創立40周年記念式典開催に向けて

会 長 本白水 博

平成27年9月27日（日）琵琶湖ホテル瑠璃の間において、士会創立40周年記念式典を開催いたします。11時から本会の発展のためにご協力、ご尽力していただいた来賓者をお招きして記念式典を開催し、12時からは記念祝賀会へと続き、来賓の方々の「おもてなし」をいたします。

さて、40周年を振り返り式典の歩みについて少し述べさせていただきます。

昭和40年に理学療法士法および作業療法士法が制定され、昭和41年に第1回国家試験が行われ、全国で183名の理学療法士が誕生し、同年、日本理学療法士協会が設立されました。その後昭和45年に京都・滋賀の会員より京都理学療法士協会が設立されました。昭和50年4月27日京都から独立し、初代砂川会長のもと6名の会員により本土会が産声を上げ、昭和60年11月30日共済会館びわこにおいて創立10周年記念式典が47名の会員を持って開催されました。平成9年1月15日草津エストピアホテルにおいて今井会長のもと、会員151名を持って20周年記念式典が法人設立記念式典と同時開催され、平成17年11月26日（土）琵琶湖ホテ

ルにて並河会長のもと348名の会員を持って30周年記念式典が開催されました。その翌日には栗東「さくら」において第45回近畿理学療法学会を開催いたしました。

このように、理学療法士が誕生して約半世紀が過ぎ、理学療法も医療から介護へ施設から在宅へ大きく舵を切る情勢となっています。これからの10年間はこの40年間以上に理学療法士にとり大きな変革の時代であると感じています。40周年を迎えるにあたり、歴史を支えていただいた諸先輩方の努力と功績に感謝し、「県民の医療・介護・保健・福祉の発展に寄与すること」を目的として決意を新たに鋭意努力し行動をしてまいります。

士会創立40周年記念式典まで残りわずかと迫りましたが、本会が今年で40歳を迎える喜びを再認識していただき、会員一体となり、これからの10年間の更なる飛躍に向けてご協力をお願いいたします。

また、今後とも関係各位に於かれましては、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

記

日 時 平成27年9月27日（日） 11時から記念式典
12時から記念祝賀会

場 所 琵琶湖ホテル 瑠璃野間

会長行動録

5月4日（月）	40周年式典委員会	6月6日（土）	協会50周年記念式典
5月9日（土）	松岡副会長との打ち合わせ	6月11日（木）	理事会
5月18日（日）	士会総会	6月13日（土）	協会定期総会
5月18日（日）	執行理事会	6月15日（月）	地域包括ケア事務局会議
5月24日（日）	40周年記念準備委員会	6月19日（金）	介護給付費審査委員会
5月25日（月）	医療審議会	6月21日（日）	新人歓迎会
5月27日（水）	三士会連絡協議会	6月21日（日）	新人教育プログラム講師
5月30日（土）	近畿ブロック会議		

昭和27年度第2回公益社団法人滋賀県理学療法士会理事会議事録(要約)

日 時	平成27年6月11日(木) 18時10分～20時40分
会 場	滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション科控室
出席理事	本白水博、平岩康之、松岡昌己、弘部重信、柴田健治、川崎浩子、宇於崎孝、吉田環、酒井英志、石井隆
出席監事	前川昭次 現在理事数：11名 監事数：2名
議 長	本白水博

○報告事項

各部、各委員会の報告

総務部・事務局(平岩副会長)

- (1) 会員数 821名(5/25現在)
- (2) 公益社団法人年次報告書の作成 6月末提出
- (3) 補助金事業 請求 入金確認

広報部 特になし

＜理事意見＞①6月号1面記事の執筆者名がなかったが、出来るだけ記載するように。②40周年記念の特集掲載を継続して企画してほしい。例えば、歴代会長の寄稿等、とりあえず8月号は本白水会長。

厚生部(石井理事)

- (1) 写真コンテストの応募状況報告
- (2) 10月フットサル大会予定 日時未定
同意書は前回同様の扱い

研修部(宇於崎理事)

- (1) 第1回研修会 参加40名
- (2) 第2回研修会 参加46名
全国学術集会同日であり、次年度以降は主要イベントとスケジュール調整が必要である。

生涯学習管理部・生涯学習部(川崎理事)

- (1) 6月21日新人研修会70名申込み 新人歓迎会への申込みは6/11現在30名
- (2) 協会本部より「研修会受付では講師は参加者の登録はしないように」との通達があった。

診療報酬部(柴田理事)

- (1) 診療報酬情報の会員への情報提供について
⇒審議事項

介護保険部(吉田理事)

- (1) 第6回訪問リハビリ地域リーダー会議(5月21日22日、東京) 滋賀県からは当会1名、作業療法士会から2名参加。
- (2) 第6回実務者研修会3士会協力支援について。
研修条件①10時間以上②「活動と参加」について

の内容を盛り込む。

保健福祉部(松岡副会長)

作業所スタッフ向け研修会2015年6月27日(土)
小児保健医療センター「二次障害予防のためのコアエクササイズ」

公益事業部(酒井理事)

- (1) 理学療法週間イベント
『介護予防推進キャンペーン2015(全国統一開催)』平成27年7月12日(日)10:00～11:30
「今から始める介護予防～ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を予防しよう!～」
内容:地域住民に対して介護予防をテーマとした公開講座
場所:明日都浜大津 4F ホール
講師:大津市健康保険部保健所
西山 直樹氏(滋賀県介護予防推進リーダー)
- (2) おおつ健康フェスティバル2015(※)
日時:2015年10月18日(日)10時～15時
場所:明日都浜大津、平成27年度調査票提出済
- (3) 第5回おうみしごと体験フェスタ(※)
日時:2015年10月17日(土)・18日(日)
10:00～16:00
場所:テクノカレッジ滋賀
平成27年6月25日(木)第1回合同説明会
14:00～ 酒井理事参加予定
- (4) しが福祉用具フェア2015(※)
日時:2015年10月中 10:00～15:30
場所:滋賀県立社会長寿福祉センター
- (5) 滋賀県がん対策推進イベント2015
日時、場所:未定
(※)ボランティアは新プロポイントの対象

情報提供

- (1) 要介護予防改善推進モデル事業審査委員会
琵琶湖中央病院 高木千春氏推薦
- (2) 協会からの連絡事項
①協会長の選出は代議員の選考を経て、総会で投票を行う方向で検討している。

- ②選挙管理委員会の変更 候補者人選は理事会推薦、総会で承認
- ③全国学術研修大会から日本理学療法学会大会へ
- ④生涯学習システムの改革
- ⑤養成校の養成施設指定・監督権限が厚労省から都道府県知事に委譲

○会議報告

(1) 滋賀県公衆衛生学会（柴田理事）

本年度は2016年2月21日（日）コラボ滋賀「地域包括ケア」は2年継続のテーマである。他団体も活発に参加している。

(2) 地域包括ケアの今後の取り組みについて

全国レベルで、3士会合同で活動していく事が確認され、滋賀県においても同様に協力していくことになった。3士会長で県医師会長へ挨拶にいき、まずは研修等から共同して行くことになった。

(3) 「地域医療をチームで担う人材育成研修」には多職種が参加可能であるが、理学療法士の参加が少ない。

○審議事項

第1号議案 提出：弘部理事

議案内容：来年度の滋賀士会学術集会の学会長候補について

審議内容・結果：地域的に湖西圏域の順であるが学会長候補者の都合により、大津の琵琶湖中央病院の田中氏となる事が承認された。

第2号議案 提出：本白水会長

議案内容：2017年度近畿学会滋賀県担当について

審議内容・結果：2017年11月11日～12日2日間開催。びわ湖ホール、ピアザ淡海。学会長は前川氏（滋賀医大付属病院）、準備委員長は宇於崎氏（滋賀医療技術専門学校）とすることが承認された。会費負担は2日間開催によって500円から750円に増額された事が報告された。

第3号議案 提出：柴田理事

議案内容：40周年記念講演会の状況について

審議内容・結果：申し込み状況の報告があり、参加者数にまだ余裕があると言うことで、中学校以外にも声かけしていく事が承認された。

第4号議案 提出：本白水会長

議案内容：公益社団法人日本対がん協会リレーフォーライフジャパンしが実行委員会主催「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015しが」からの後援依頼について

審議内容・結果：当会として後援団体として妥当であると判断し、後援団体として依頼を受けることが承認された。

第5号議案 提出：本白水会長

議案内容：8月理事会開催日について

審議内容・結果：お盆の時期であり交通渋滞を考慮し、第1木曜日（6日）へ開催日を変更する事が了承された。

第6号議案 提出：宇於崎理事

議案内容：平成36年に滋賀国体が開催される。当会としての協力支援体制について

審議内容・結果：県体育協会にドクター部会があり、そこにコンディショニング部会が組織されている。アスレチックトレーナーと理学療法士だけが部員として所属できる。滋賀国体の成功のため、士会として一致団結して協力する事が承認された。本会に「滋賀国体を成功させるための支援準備委員会（仮）」を早急につくり、協力士会員を募る事が了承された。

第7号議案 提出：柴田理事

議案内容：診療報酬部の情報提供方法について

審議内容・結果：診療報酬部長より、集めた診療報酬情報の士会員への情報提供方法について理事会へ検討依頼があった。士会員が参加する情報交換会で意見交換や情報提供することが了承された。

第8号議案 提出：川崎理事

議案内容：当会への講師派遣依頼の対応について

審議内容・結果：士会への講師派遣依頼があるが、文書のやりとりは必要か？講師の報酬は？担当部署は？等の公益社団法人としての方針を決めておく必要がある。当会として「紹介」というよりは「派遣」として対応していく事を承認する。規定はないが、依頼文書は原則当会とするが事情によっては所属先を依頼先とする。依頼された講演者は当会からの派遣であることを示し、当会員としてふさわしい対応を取ることが求められる。事故時には当会の保険を適応とする。報酬は依頼先の規定に従うが、問い合わせには当会の基準を伝える。無報酬の場合は当会事業として規定の報酬を支給する。公務員規定が適応される場合は、報酬は当会が受け取り、そこから士会の規定通りの対応をする。事務扱いは当面、川崎理事とし、派遣された講師は簡単な報告書の提出をする。以上了承された。

第9号議案 提出：本白水会長

議案内容：40周年記念式典表彰者の推薦について

審議内容・結果：規定に照らして、知事表彰は本白水氏、松岡氏、前川氏とする。士会長賞は分木氏、弘部氏、平岩氏、柴田氏、宇於崎氏、酒井氏とする。以上承認された。

平成27年度滋賀県理学療法士会活動助成事業のお知らせ

応募要領：

研究活動助成申請書を作成し提出すること。

また、研究テーマに沿って①研究の目的、②方法、③予想される結果、および④仮説とそれに対する考察等を1000字程度にまとめ所定の用紙に記入して提出すること（原稿には①～④とわかりやすく見出しをつけること）。

また、研究発表までのおおまかな研究計画予定（タイムスケジュール）および研究に必要な経費（基本的に8万円まで）の概算を所定の用紙（様式1～4：滋賀県理学療法士会ホームページよりダウンロード可能）に記入して下記送付先へメールまたは郵送、FAXで提出すること。

締め切り：平成27年9月30日

審査：

1) 平成27年10月

2) 基礎・臨床及びその他の分野の研究を各数編選出し、1件につき基本的に8万円以内の助成を行う。

3) 審査結果は本人宛通知すると共に士会ニュースにて発表する。

研究助成該当者の責務：

選出された研究該当者は、平成28年滋賀県理学療法士学術集会にて、その成果を発表する。ただし、発表1ヶ月前に掲載用論文を教育部に提出すること。論文は、滋賀県理学療法士会学術誌「湖都」に掲載される予定であり、それまでに教育部の許可なく他誌への投稿はしないこととする。

送付先：

草津市役所 長寿いきがい課 木村 太朗

〒525-8588 草津市草津三丁目13-30

TEL 077-561-2362 FAX 077-561-6780

mail: choju@city.kusatsu.lg.jp 木村宛

【会員公募事業】

滋賀県理学療法士会創立40周年関連事業 「一緒に歩きましょう 金勝山ハイキング」

秋空の中、大津・栗東にまたがる金勝山・龍王山(604m)を約4～5時間の行程で歩きます。天狗岩、耳岩からの琵琶湖眺望が絶景の小学生も歩くハイキング初心者、初級者コースです。



1) 対象：ハイキング初心者からどなたでも。（運動靴でも可能）

メタボ予防のきっかけをつくりたい士会員。

将来は北アルプスを目指したい新人山ガール、山ボーイの士会員。同僚、友人、家族同伴歓迎。

大自然のなかで愚痴りながら、ストレス発散させたい士会員。

とりあえず、歩きたい士会員誰でもOKです。

2) 日時：2015年10月4日(日)

集合時間は8:30 雨天中止

3) 集合場所：大津 上桐生バス停近く一丈野駐車場
(特養ホーム 桐生園近く)

地図詳細は栗東市観光課 HP 参加者によっては集合場所の変更有。

4) 費用：一丈野駐車場は清掃協力金 普通車 500円/日、二輪車 200円/日 必要ですが、士会から一部援助をいただく予定です。

5) 申し込み：期限 9月25日(金) 参加希望者は氏名、所属、士会員以外は関係、連絡先(できればメールアドレス)をできるだけ下記メールに連絡してください。件名に「金勝山ハイキング申し込み」明記してください。詳細はメールで返信します。

6) 装備：トレッキングシューズ(運動靴でも可)、デイバック、弁当、おやつ、飲み物、レインウェア、携帯電話等。

7) 事故のときは士会加入の保険で対応します。

8) 呼びかけ人

平岩 康之(滋賀医大附属病院)

石井 隆

(済生会滋賀県病院 連絡先 077-552-1221)

ptshigati@gmail.com

新人紹介



木村 紘 亮

病院名：神崎中央病院
出身：滋賀県
趣味：バスケ、スノーボード、
読書

ひとこと： 私は、人の人生に関われる仕事がしたいというきっかけから理学療法士を目指しました。そして今、実際に理学療法士として働く毎日過ごしている中で自身の勉強不足を実感することが多くあります。特に患者様の希望に自信のある答えを出せない時が本当に悔しく、自身の勉強不足を噛み締めます。私は患者様の希望に、より良い答えを出せ、そして寄り添うことができる理学療法士を目指しています。その理想に少しでも近づけるように、足りない知識は補い、先輩方から多くの事を学び、自身の経験としていけるよう懸命に励みたいと思います。



夏目 健 史

病院名：ヴォーリス記念病院
出身：滋賀県
趣味：野球

ひとこと： 今年度の4月よりヴォーリス記念病院で勤務させていただいております、夏目健史と申します。入職して数ヶ月経ちますが、患者様と関わらせていただいている中で自分の未熟さを痛感する毎日過ごしています。患者様に良い治療が提供できるよう日々学習していくとともに、病院スタッフの方々や患者様に信頼される理学療法士を目指し頑張ります。よろしくお願いします。



上野 萌

病院名：神崎中央病院
出身：滋賀県
趣味：散歩

ひとこと： 今年度から神崎中央病院で務めさせていただいている上野萌と申します。

もともと中学、高校とソフトテニスをしており、その時に理学療法士を志し、大阪の藍野大学で4年間学びました。藍野大学での友達や先生方との出会いは私の中では非常に大きいものだったと思います。また、4年間実家の長浜から遅刻なく毎日通えたことは、時間を守ることに対する自信に繋がったのではないかと思います。

今神崎中央病院で働かさせていただき、一人一人の患者さんに丁寧に接していくことができる理学療法士になるという目標を掲げて、日々頑張っています。また、テニスをしていた経験を活かし今後も元気に明るく頑張っていこうと思います。

何かとご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、よろしくお願い致します。



竹内 明 里

病院名：大津赤十字志賀病院
出身：滋賀県
趣味：ショッピング・旅行

ひとこと： はやいもので就職して3カ月経とうとしています。

患者様と接するたびに、自身の勉強不足や未熟さを痛感する毎日ですが、

優しい先輩方・スタッフの方々に助けられ、バタバタしながらも充実した日々をおくっております。

日々勉強し、一人ひとりの患者様に真剣に向き合うことで少しずつでも成長し、あかりと言う名前のように患者様の気持ちを明るくできるような理学療法士になりたいと思います。



楠 本 やわら

病院名：大津赤十字病院
出身：滋賀県
趣味：

ひとこと： 柔道とは一切関係ありません、やわらです。前歯は出ておりますが、人を傷つけないように隠しております。私はたくさんの方々に支えられて、PTというスタートラインに立つことができました。皆さんに与えられたものを最高の形で患者さんにお返しできるようにします。即時性に拘って1単位でスパッと治せるようになることが私の今の目標です。少なくとも私が担当になることで不幸な人を作り出すことがないよう勉強していきます。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



二 柳 和 人

病院名：近江温泉病院
出身：滋賀県
趣味：メダカ飼育

ひとこと： 今年度より、近江温泉病院にて1年目の理学療法士として再出発させていただきました。温かい先輩方がいる職場で、何とか支えられて今を過ごしています。日々わからないことばかりで、難しい職業を選んでしまったと思いましたが、早く質の高い治療ができるよう頑張ります。滋賀県の理学療法士の先生方、これからたくさんお世話になると思います。私なりに何か力になれるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



阪 口 英里香

病院名：大津赤十字病院
出身：滋賀県
趣味：

ひとこと： 早いもので、入職して3ヶ月が経ちました。職場では、たくさんの先輩方に恵まれながら、忙しい中でも充実した毎日を送らせていただいています。まだまだ未熟で至らないところも多くありますが、患者様のために自分に何ができるのかを考えながら、一所懸命に頑張っていきたいと思っています。いつまでも初心を忘れることなく、理学療法士を目指すきっかけになった仲間と、支えてくれた家族に感謝しながら過ごしていきたいと思っています。



岸 田 菜 央

病院名：近江温泉病院
出身：滋賀県
趣味：パン屋さんめぐり

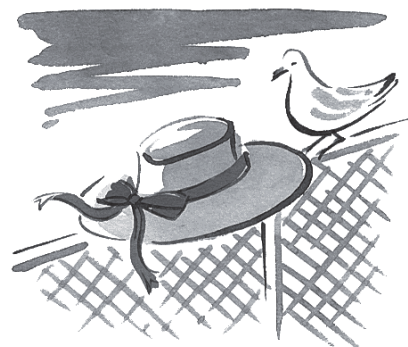
ひとこと： 私が理学療法士を目指した理由は祖母が「理学療法士は良い仕事だよ」と言ったからです。祖母は以前理学療法士にお世話になっていました。祖母は理学療法士と関わるうちに笑顔がみられるようになりました。そのような姿をみて私は何時しか憧れを持つようになりました。理学療法士になって3ヶ月が経ちました。今は目の前のことで精一杯になっていますが、多くの先生方に助けて頂きながら日々励んでいます。今後は患者さんのことを考え、笑顔を与えられるような理学療法士を目指していきたいです。



乳 原 美沙子

病院名：近江温泉病院
出身：三重県
趣味：スノーボード、旅行

ひとこと： 私が理学療法士になろうと決めたまっかけは大学生時代のボランティアです。それは片麻痺の方々の水中療法のお手伝いでした。その方の動作が変化する姿を目にし、その時のその方の笑顔が忘れられず、このような職業に就きたいと思いPTの専門学校へ進学しました。PTとしての知識・技術向上を目指すだけでなく、リハビリの楽しさをも伝えられる人になりたいと思っています。



第6回 施設対抗フットサル大会

参加チーム募集

今年も第6回の施設対抗フットサル大会を開催するにあたり、参加チームを大募集します。

試合中の交代も自由ですので、初心者の方でも気軽に参加していただけます。観戦のみでも大歓迎です。優勝チームなど複数賞品をご用意しています。

皆さんで楽しむとともに士会員同士が交流する良い機会になれば幸いです。詳細は下記の通りです。



【日 時】 11月1日(日) 10:00～17:00 (予定)

【場 所】 キムラスクエアガーデン内

ジョイフットサルプラザフットサルコート(能登川)

TEL: 0748-48-8181

※少雨決行ですが、荒天の場合は順延予定。

【参加要項】

- ◆参加費は1人500円です。
- ◆1施設から1チームのみ(5人以上)の参加とさせていただきます。グループ施設混合チーム、近隣施設混合チームでも構いません。
- ◆男性、女性、どちらでも参加して頂けます(男女混合チームはフィールドに6人出場可能)。
- ◆チーム構成について、PTを代表者としていただければ、OT・STでも参加可能です。また、医師・看護師・介護士など施設スタッフの参加も認めます。
- ◆大会運営および災害補償の関係上、メンバー表の提出をしていただきます。エントリー時に詳細をお伝えします。
- ◆競技中の怪我に対しては、滋賀県士会が加入している災害補償を利用します。エントリー後にお渡しする規定をご確認後、補償内容が不十分であれば、各チーム独自でスポーツ保険等に入入されることをご検討ください。

参加して頂ける施設の代表者は、10月1日(木)までにE-mailにてお申し込みください。ご質問等あれば遠慮なく下記連絡先へお問い合わせください。

また、大会規模が大きくなったため、今後の大会運営をお手伝いいただくスタッフを募集しています。成績上位チームにお願いする予定ですので、あらかじめご了承ください。

申し込み先: futsal.shiga@gmail.com

連絡先: 公立甲賀病院 訪問リハビリ事業所
大谷 明日輝

TEL: 0748-62-3081 (直通)

お問い合わせは17時以降にお願い致します。

申し込み締め切り: 10月1日(木)



前回集合写真

平成 27 年度 新人研修会案内

第2回新人研修会

日 時 2015年8月23日 (日)

会 場 ピアザ淡海会議室 207会議室

研修内容

09:40～10:40

D-1 社会の中の理学療法 (政策含む)

10:50～11:50

D-2 生涯学習と理学療法の専門領域

申し込み 2015年7月12日 (日) ～8月9日 (日) 必着

第3回新人研修会

日 時 2015年9月13日 (日)

会 場 滋賀医療技術専門学校

研修内容

09:00～10:00

B-3 統計方法論

10:10～11:1

B-4 症例報告・発表の仕方

11:20～12:20

C-5 地域リハビリテーション (生活環境支援含む)

補装具について (仮) 講師: 南部先生

申し込み 2015年8月2日 (日) ～8月30日 (日) 必着

第4回新人研修会

日 時 2015年12月13日 (日)

会 場 ピアザ淡海会議室 207会議室

研修内容

09:40～10:40

B-2 クリニカルリーズニング

10:50～11:50

E-1 臨床実習指導方法論

申し込み 2015年11月1日 (日) ～11月29日 (日) 必着

申込み方法

下記アドレスまでE-mailにて事前にお申込みください。

件名には、必ず「〇月〇日新人研修会申込み」と入れ、氏名・所属を明記してお知らせください。

所属施設ごとの一括申し込みにご協力をお願いします。

お申し込みの際、パソコンからのメール受信拒否の設定を解除してください。もしくは確実に連絡の取れる連絡先からのお申し込みをお願いいたします。

*参加者には締め切り後、折返し連絡いたします。

なお、研修会の資料を配布いたしませんので、各自マイページからダウンロードしご持参いただきますよう、よろしくお願いいたします。

アドレス E-mail: taka-much@nagahama-hp.jp

市立長浜病院 町本宛

第6回介護従事者意見交換会 のお知らせ

日 時：平成27年9月13日(日)10:00～12:00 受付9:30～

会 場：滋賀県立男女共同参画センター研修室 A (0748-37-3751)

テーマ：『平成27年度介護報酬改正後の現状や課題について』

内 容：県内の介護保険分野に携わるPT同士の交流の場です。今年度は介護報酬の改正がありましたので、各事業所の改正後の現状や課題についてディスカッションし、情報交換が行える場としました。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

申し込み：下記アドレスまでE-mailにて、事前にお申込みください。

件名は「介護従事者意見交換会申し込み」と入れ、

氏名・所属を明記してください。

申し込みアドレス：shigaptkaigo@gmail.com

締 切：平成27年9月4日（金）

保健福祉部研修会のご案内

日 時：平成27年10月31日(土)

10時から16時（受付は9時半から）

会 場：小児保健医療センター 研修室・リハビリテーション室

テーマ：「重症心身障がい児の呼吸リハビリテーション」

講 師：稲員 恵美氏（静岡県立こども病院 理学療法士）

研修内容：午前は講義、午後は姿勢管理を含む実技を行う予定です。

動きやすい服装でご参加下さい。

申込み先：下記までメールにてお願いします。

E-mail : noishiki-yoshimi@pref.shiga.lg.jp

件名に「保健福祉部研修会申込み」と記入してください。

締切りは10月24日（金）です。



平成27年度(公社)滋賀県理学療法士会 第1回研修会の感想

日 時：2015 年 4 月 26 日（日） 10 時～ 16 時
会 場：ピアザ淡海 ピアザホール
テーマ：『認知神経リハビリテーションの臨床の実際』
講 師：本田慎一郎氏（守山市民病院 作業療法士）
参加者：40 名（会員 34 名、県外会員 5 名、会員外 1 名）

研修会報告

4月26日ピアザ淡海にて、「認知神経リハビリテーションの臨床の実際」について、本田慎一郎氏にご講義いただきました。今回の講義では、認知神経リハビリテーションの基礎から、実際の患者さんに対してリハビリテーションを行う実践的な内容まで幅広くお話しくださいました。

内容としては、臨床経験 1 年目のような私自身にまでわかりやすく教えてくださり、とても興味を引くものでした。特に、人間は知覚、記憶、注意、イメージなど、さまざまな認知過程を介して運動を行

っており、どの部分が障害されているかによってアプローチ方法も異なるといったところがとても興味深かったです。

また、実際の患者さんを例にとった講義の中では、自分の治療させていただいている患者さんにも対象に当てはまるかもしれないということが多々あり、内容がとても身近に感じられました。

研修会を終えて、まだまだわからないことも多く、認知神経リハビリテーションについてもっと深く学びたいという思いが強まりました。最後になりましたが、今回お忙しい中ご講義くださいました本田氏ならびに、企画・運営してくださった県士会研修部の皆様に心より感謝申し上げます。

大津赤十字病院 阪口 英里香



平成27年度(公社)滋賀県理学療法士会 第2回研修会の感想

日 時：2015 年 6 月 7 日（日） 10 時～ 15 時
会 場：滋賀医療技術専門学校
テーマ：『テーピングの基礎と現場での実際』
講 師：堀口幸二氏（長浜赤十字病院）
アシスタント（金戸俊之氏、久田信孝氏）
参加者：46 名（会員 35 名、県外会員 11 名、会員外 0 名）

研修会報告

今回の研修会では、長浜赤十字病院の堀口幸二氏に「テーピングの基礎と現場での実際」について、テーピングの種類や目的から、評価や扱い方まで実技を交えながら、わかりやすく講義していただきました。

実技の中ではお互いにテーピングしあい、関節の軸を考慮することで、どちらに誘導や制御ができていのかを実感しながら、考えることができました。症例検討では、どのような評価やサポートが必要か

を、より実践に近い形式で議論することができました。

今までの臨床では、ほとんどテーピングに触れる機会はありませんでしたが、基礎から学ぶことができ、とても興味がわいた研修会でした。この研修会で得たことを、治療の一つの選択肢となるよう知識を深め、今後の臨床場面でも活かしていきたいと思

います。最後になりましたが、今回ご講義して下さった堀口幸二氏及びアシスタントの方、研修会の開催にあたりご尽力くださいました研修部の方に感謝いたします。

神崎中央病院 石原 美奈子



こんな本

読みました！



大津市社会福祉事業団 並河 孝

「認知症のことは医学書だけで読んでいてもわからない。患者さんから学ばせてもらえない」この視点は、私達専門職のすべてに通じる忘れてはいけない原点だと思っています。長尾先生は認知症の専門医ではありませんが、「気が付くと毎日、実にたくさんの認知症の人を外来と在宅や施設で診る立場になっていました」と書かれています。その地域生活の中での経験が生きた臨床で、そこからの声は心に残っていくものが多い。“現在の認知症医療はかなり間違っていると思う”と警告を鳴らしている。専門医に行き検査・薬、進むと施設入所や精神病院、さらに進むと意思決定が出来ないと医療者側は一方的に上から目線で次々に烙印を押す。さらに介護に関しても同様で、新しく施設に入ると介護スタッフから要求され担当医が抗認知症薬や抗BPSD薬が出される。施設から脱出しようとする鍵がかり、さらに薬漬けになる。間違った医療や介護が認知症を混乱させている。時に専門医が出した薬をたった一錠止めるだけで別人のように回復し、名医と思われることもある。車を買うときは、展示場やカタログを見たり家族に相談して決めるが、認知症になった親の介護はわからないの一言で決められることが多い。まずは車より親の介護は、かけがえもなく大切で家族に賢くなってほしいと訴えている。認知症の問題は、本人だけでなく家族の問題で、家族が本人に無用に勝とうとして闘うので歪んでいくので、家族が負けてあげればほとんどが解決するのに・・・と書かれている。夜中じゅう歌を歌い続ける寝たきりのおばあちゃんに家族は何とかしてほしいと相談に来る。そんな時は睡眠薬を処方する。おばあちゃんではなく家族に・・・といった具合に目からうろこと思うことがいっぱい詰まっている。薬で不安になっているのは、本人ではなく家族であり、本人に予防させるのではなく、なってもいい地域をつくることで、一人でも多くの人が認知症を正しく理解してほしいと訴えている。地域現場を大切にせるセラピストには是非一読頂きたい。

【題名】
『家族よ、ボケと闘うな！』

【著者名】
長尾和宏氏（医師）
近藤 誠（役人）
定価：1,300円＋税

【出版社名】
ブックマン社



こんな本

読みました！



湖東記念病院 南川 未来

人は皆、苦勞を厭い、面倒なことを避け、自分中心に生きようとする傾向がある。しかし、人間らしく、よりよく生きるということは、このような自然的傾向と闘うことであり、したくてもしてはいけないことはしない。したくなくてもすべきことはする。私自身もこの例外ではなく苦勞をすることや面倒だと思うことを避けて生活していることも少なくありません。

自分の夢や理想に向かい、努力を惜しまず、面倒なことを買って出ても苦勞をする。そんな人が私の周りにはいます。しかし、その人たちに憧れ、尊敬をし「あの人のようになりたい」と思うものの自分には出来ないとどこかで諦めてしまっているのも正直なところです。

この本に書かれているように、安易に流されやすい自分と絶えず闘い、面倒でもする人、倒れてもまた起き上がって生きてゆく人、そんな人に私もなりたいたと思いました。と、同時にこの本は自分の生活や考え方を見つめ直す良いきっかけとなったそんな本です。

機会があれば一読されてみてはいかがでしょうか。

【題名】
「面倒だから、しょう」

【著者名】
ノートルダム清心学園理事長
渡辺 和子

【出版社名】
幻冬舎



滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

✓ 事務局

ptshiga@ares.eonet.ne.jp 担当：大津市民病院 本白水

✓ 入会 異動 財務関係 公文書発送

異動届は協会ホームページ(マイページ)上から行うことになりました。

<http://www.japanpt.or.jp/>

info@shiga-pt.or.jp 担当：滋賀医大 平岩 TEL/FAX 077-548-2670

✓ 発送物関係 総務部

reha@otsu.jrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

折込発送物等あれば、毎月 25 日までにお申し出ください

折り込み発送物の発送先の発送範囲についてもお知らせください(会員のみ、関連団体込など)。

各部の事業の配布物に関しても発送に関しては総務部にご相談ください。

✓ ホームページ原稿受付

担当：kojin@belle.shiga-med.ac.jp 担当：滋賀医大 岩井

ホームページ <http://www.shiga-pt.or.jp>

✓ 士会ニュース原稿受付

shigaptnews@yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院 龍本

✓ 研修関係 研修部

ptshigakennsyuukai@yahoo.co.jp 担当：小児保健医療センター 清岡

✓ 介護保険部

ptkaigohokennbu@yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院訪問リハビリテーション事業所 深江

電話/FAXは0748-62-3081

✓ 診療報酬部

rehabili@yasu-hp.jp 担当：野洲病院 辻村

TEL : 077-587-1332 FAX : 077-587-5004

✓ 生涯学習関係 生涯学習管理部

m-ikeya@pt-si.aino.ac.jp 担当：滋賀医療技術専門学校 池谷

TEL 0749-46-2322

✓ 厚生事業関係 厚生部

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp 担当：東近江市蒲生医療センター 奥田

事務局 だより

8 月分

○会 員 数 838名 平成27年6月25日（現在）
○賛助会員 5 社

会費について

2015年度年会費より「育児休業割引」と「シニア割引」が導入されることになりました。

詳しくはPT協会のホームページをご覧ください。

<http://www.japanpt.or.jp/members/membership/fee/>

対象の方はPT協会のホームページ（マイページ）からお手続きください。

尚、士会費については現在のところ割引制度は設けておりませんのでご注意ください。

会費未納の方はすみやかに納金してください。

会員異動について

所属施設の変更、県内外への異動、姓の変更、自宅住所の変更などがありましたら必ず協会ホームページにてお手続きください。紙申請は平成25年12月で廃止されました。

ユーザー名やパスワードをお忘れの場合は「ID・パスワード」再発行申請書を協会に送付して再発行していただく必要がありますのでご注意ください。申請書は協会ホームページの異動・休会・復会等の手続きのページからダウンロードできます。

異動手続きを怠りますと協会や士会からの発送物がお届けできないばかりか、転居後新しい住民の方にご迷惑をおかけしますのでご協力お願いいたします。

施設名の変更がありましたら、所属施設の責任者の方のマイページから修正が出来ます。出来ない場合は平岩までお知らせください。

発送物は昨年度から会員区分が施設の方は所属施設の方へ発送することになりました（PT協会からの発送物を除く）。

県内の病院、施設等にお勤めの方は、必ず所属施設をマイページで登録しておいてください。

日本理学療法士協会ホームページ

<http://www.japanpt.or.jp/>

新卒者の入会について

皆様の施設、あるいは近隣の施設に新卒者がおられましたら、日本理学療法士協会への入会をぜひおすすめください。

入会方法について

国家試験合格発表後、協会ホームページURL <http://www.japanpt.or.jp/about/join/> より入会登録を行ってください。

初年度のみ、協会より会費の請求書が入会登録者に送付されます。会費、入会金納金後、会員証等が送付されます。

尚、県士会からの発送物はシステムの都合上、入会申請後2カ月程度遅れて発送されますのでなるべく早く手続きされることをおすすめします。登録前の発送物は発送されませんのでご了承ください。

入会金、会費について

新卒者の入会

入会金 5,000円 協会費 5,000円

士会費 9,000円 合計19,000円

2年目以降の入会

入会金 5,000円 協会費 11,000円

士会費 9,000円 合計25,000円

発送物仕分け用名簿配信サービス仮運用中

各施設へ送られた郵送物の仕分け用に名簿（個人情報伏せております）をメーリングリストで送付するサービスを仮運用中です。ご希望の施設の代表の方は、下記問い合わせ先に「メーリングリスト希望」と件名に書いてメールを送ってください。施設名、代表者名を明記してください。

会員異動、会費関係問い合わせ先

〒520-2192

大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学医学部附属病院
リハビリテーション部 平岩康之 宛

問い合わせ info@shiga-pt.or.jp



【お詫びと訂正】

6月1日発行の県士会ニュース表紙におきまして、寄稿者のお名前を掲載しておりませんでした。この場をお借りしてお詫びし、訂正させていただきます。

【訂正】 寄稿者の所属先と氏名
滋賀医療技術専門学校
池谷 雅江 氏

編集後記

忙しさのなかで、過ぎていく毎日。
楽しいこともそうでないことも、少しずつ記憶から薄らいでいきます。
しかし、がんばっている人たちがいることは、決して忘れないで。

K.N



広報部メールアドレス

shigaptnews@yahoo.co.jp

SHIGA SCHOOL
of Medical Technology

滋賀医療技術専門学校

～新しいリハビリテーション医学を学ぼう～

最速・最短・最小学費で国家資格を取得！

- ①理学療法学科・作業療法学科ともに最短資格取得の3年制！
- ②学費は3年間でわずか300万円！
- ③関連校である藍野大学への編入制度を計画中！

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967番地

学校法人 藍野学院

滋賀医療技術専門学校

TEL : 0749 (46) 2311

FAX : 0749 (46) 2313

E-mail : shiga@aino.ac.jp

http://www.aino.ac.jp

